

# 高レベル放射性廃棄物とは

原発の使用済み燃料から再処理工場でプルトニウムとウランを取り出した後に残る死の灰の廃液。この廃液をガラスと一緒に固め、キャニスターと呼ばれるステンレス製の容器に詰めたものが高レベル放射性廃棄物です。ガラスで固めるためガラス固化体とも呼ばれます。ガラス固化体一本には広島原爆約三十発分の死

## ガラス固化体



の灰が詰まっています。被曝すればわずか数秒で致死量に相当する強烈な

放射線を発するため、ガラス固化体の取り扱いは全て遠隔操作で行えません。

また、放射能による高い熱も持っています。処分までの三十〜五十年間、青森県六ヶ所村で一時貯蔵して冷却する計画ですが、五十年では十分に冷却できないおそれもあります。なにしろガラス固化体には果てしなく長い寿命の放射能が入っています。そのため、アメリカ環境保護庁は、放射能規制を百万年間行うとしていますが、埋め捨てにできるような代物ではないのです。

ガラス固化体1本あたりの放射能の変化

